令和3年度行政評価 事務事業評価シート（令和2年度実績）

事務事業コード	010102010	予算コード	01080020	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	相談事業			正規職員数	0.35	国庫支出金	0	有効性	B	潜在的相談者（悩み等があっても何らかの事情で相談できずにいる人）が多数いると想定され、いかに相談へと結びつけるかが課題である。	
担当課	人権推進課			嘱託職員数	2.9	府支出金	4,234				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数	0.2	市債	0	効率性	B		
	■条例・規則　■要綱・要領			歳出（千円）		その他	0				
	大阪府補助金交付規則、大阪府総合相談事業交付金交付要綱			人件費総額	13,499	一般財源	9,282	妥当性	B		
						減価償却費	0				
						事業費	17	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			13,516	緊急性	A	事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当りコスト（円）			134			人権侵害ケースワーク事業　１８３件	
対象				活動指標		R2実績		公的関与	A	総合生活相談事業　３５９件	
不特定の市民		対象数		人権侵害ケース（相談）件数		183.0				進路選択支援事業　３１件	
市内在住、在勤				総合生活（相談）件数		359.0		実施主体・委託化	B	地域就労支援事業　７７件	
事業の内容				進路選択支援（相談）件数		31.0				合計　６５０件	
①人権侵害ケースワーク事業　②総合生活相談事業　③進路選択支援事業　④地域就労支援事業				地域就労支援（相談）件数		77.0		他の事務事業との関連	A		
				成果指標		R2実績		透明性	C		
				人権侵害ケース（相談）件数		183.0					
				総合生活（相談）件数		359.0		財政健全化計画	該当なし		
				進路選択支援（相談）件数		31.0					
				地域就労支援（相談）件数		77.0		財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標		R2実績		改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				相談一件あたりの経費		20,793.8					
広くあらゆる分野の相談（総合生活相談）に対応し、住民の自立支援、福祉の向上に資する。											